

# 環研センターNEWS

令和4年2月号 山形県環境科学研究センター

今月の記事

【お知らせ】カン・カン・カン♪環強教室	1
【事業報告】気候変動適応セミナー開催 / 【お知らせ】大腸菌の環境基準設定	2
【環境ミニ知識】POPs / 【事業報告】ブナの豊凶調査	3
【各部紹介】大気環境部 / 【職員自己紹介】	4

## 【お知らせ】カン・カン・カン♪環強教室

山形県環境科学研究センターでは、「リサイクル工作」や「発電実験」、「水質分析実験」など、環境に関する体験学習を行っています。このたび、カン（環境）・カン（観光）・カン（感動）を掲げ、センターの体験学習に「そば打ち体験」や「最上川三難所舟くだり」などをプラスした環境教室を企画しました。

カン・カン・カン♪環強教室では、以下の施設とコラボしています。当センターに連絡いただければ、各施設と調整します。

			
<b>そば打ち体験</b> (村山市農村文化保存伝承館)	<b>舟下り</b> (最上川三難所舟くだり)	<b>陶芸</b> (楯岡焼(小松沢工房))	<b>酒造りビデオ上映、試飲</b> (六歌仙)
			

### 第一号！

昨年12月22日（水）に酒田市八幡自治会長さんのグループが体験（センター+六歌仙+蕎麦）されました。センターで間伐材を使った門松づくり、六歌仙で酒造り見学、三郎兵衛そばで昼食と、環境学習と観光を満喫していただきました。動画でもその模様をご紹介しますので、ぜひご覧ください。

動画はこちらから

<https://youtu.be/uG9dxWE3sFM>



門松づくりに使用している松は、県の「森林研究センター」（林木育種園、鶴岡市羽山町）の二松によるものです。



「手間暇」は、山形県の新しい酒造好適米「雪女錦」を使った大吟醸です。



昼食には、「三郎兵衛そば」の手打ちの板そばです。

## 【事業報告】 気候変動適応セミナーを開催しました

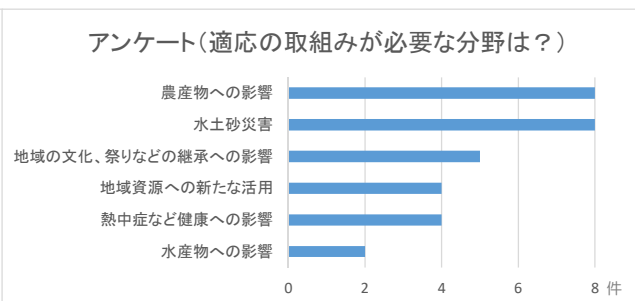
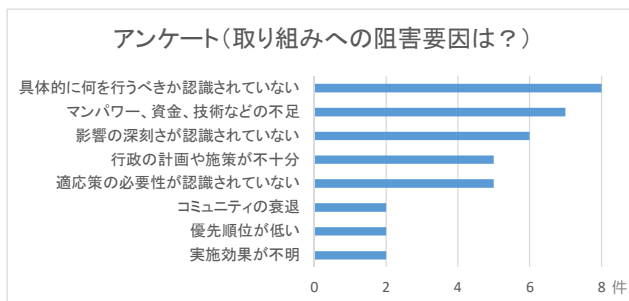
昨年12月13日（月）に「令和3年度山形県気候変動適応セミナー」を開催しました。4月1日に気候変動適応センターを開所して初めてのセミナーであり、どのような内容にするか検討した結果、ワークショップ形式にして、参加者には自由に意見を発言していただき、適応センターとしての今後の課題、方向性を見出す企画となりました。

セミナーでは、はじめに、「緩和」と「適応」について長年研究されている山陽学園大学の白井信雄先生に適応について解説いただき、参加者の理解を深めたうえで、ワークショップ形式で気候変動について意見交換を実施しました。

ワークショップの参加者は、自治体職員や地方議会議員、民間企業、環境推進委員など、色々な分野の方で、ワークショップのファシリテータは、環境首都創造 NGO 全国ネットワークの下村さんが務めました。下村さんのアイデアで、グループごとに30分ほど意見交換した後、1名を残してメンバーを総入れ替えして、出された意見に対して新しいメンバーで議論をする形式を取り入れています。

当日は大雪だったため、帰りの交通も考え早めに終わらせる予定でしたが、参加者の方々の盛り上がりにより、時間を超過してしまいました。

また、今回のセミナー開催を契機に、「持続可能な地域創造ネットワーク全国大会」において山形県の取組みを紹介する機会をいただきました。



## 【お知らせ】 大腸菌数の環境基準が設定されました

河川や湖沼などの公共用水域には、大腸菌群数の環境基準が設定されていますが、先日、環境省から大腸菌群数を廃止し大腸菌数の環境基準を設定する告示がなされました。

よくわからないですね？

大腸菌の状況を監視することは、その水域の生活排水などによる人為汚染やふん便汚染を把握し、また、水道水源として適しているかどうかを把握するためにとっても重要です。しかし、これまで測定していた大腸菌群数では、簡便な測定方法であるものの、ふん便由来でない、もともと自然界に存在する土壌細菌なども一緒に測定されてしまい、汚染を正確には評価していないと言われていました。最近ようやく簡便な測定技術が確立し、大腸菌のみを測定することができるようになり、今回の改正に至りました。

<http://www.env.go.jp/press/110052.html>



# 環境ニ知識 POPsって聞いたことありますか？

「POPs」とは、日本語で「残留性有機汚染物質」といわれるもので、英語（Persistent Organic Pollutants）の頭文字をつないだ略称で「ポップス」と呼ばれています。

環境中で分解されにくく、人や野生生物などの体内に蓄積しやすい、地球上で長距離を移動して遠い国の環境にも影響を及ぼす恐れがあり、一旦環境中に排出されると私達の体に有害な影響を及ぼしかねない性質を持つ化学物質をさします。例えば、ダイオキシン類やPCB（ポリ塩化ビフェニル）、DDT（農薬）といった化学物質が挙げられます。

各国が協力してPOPs対策に取り組むため、1990年代から話し合いが始められ、2001年5月にスウェーデンのストックホルムで「残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約」（POPs条約）が採択されました。2021年3月現在で日本を含む182か国及び欧州連合、パレスチナ自治区が締結しています。

現在、日本ではPOPsの製造・使用を既に法律で原則禁止としていますが、意図せずに生成してしまう物質や、過去に使用された物質が現在も環境中に存在しているため、環境中の汚染状況を把握する調査を行っています。当センターでも、環境試料の採取や分析を行い、環境省の調査事業、POPs対策に貢献しています。



（参考）環境省HP「POPs」

<https://www.env.go.jp/chemi/pops/index.html>

## 【事業報告】ブナの豊凶調査

森林生態系への影響や異変を事前に把握して、その原因を解明することを目的に、野生動物の生息動向に影響を与えると考えられるブナの豊作凶作の状況調査を毎年行っています。県内16カ所に1㎡の円形ネットのトラップを設置し、11月までトラップに落下した健全種子の数から豊凶を判定します。

落下した健全種子数が200個/㎡以上の場合を豊作、50～200個/㎡未満の場合を並作、50個/㎡未満の場合を凶作としています。

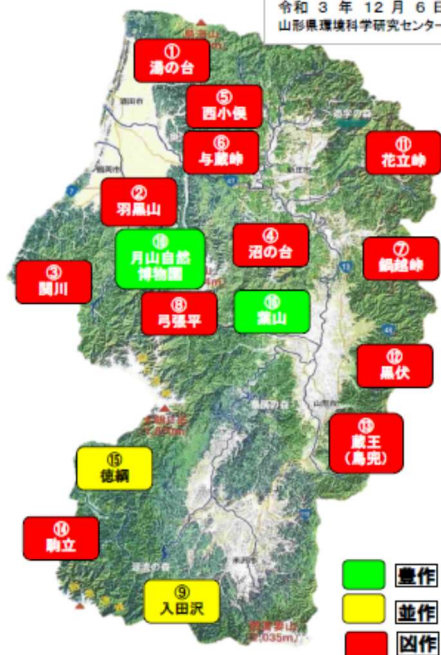
今年度の調査結果は、豊作が2カ所、並作が2カ所、他の12カ所は凶作となりました。野生動物が食べ物を求めて市街地に出没することが懸念されますので、引き続き注意が必要です。

<https://www.pref.yamagata.jp/053001/kurashi/kankyo/management/kenkyuucenter/bunahoukyou.html>



ブナ豊凶結果 位置図

令和3年12月6日  
山形県環境科学研究所



## 各部紹介(大気環境部)

大気環境部では、大気中の汚染物質濃度の常時監視や事業場の排ガス測定、酸性雨調査などを行っています。今回は、その中の「有害大気汚染物質モニタリング調査」について紹介します。

大気中には目にはなかなか見えませんが、様々な化学物質が存在します。その中で有害大気汚染物質は「低濃度でも長期的に摂取することで人の健康を損なうおそれのある物質」としてベンゼン、トルエン、水銀などが定められています。県では、特に健康リスクが高いとされる 19 物質について大気中の濃度を毎月測定しています。山形県では、測定したすべての物質が環境基準や指針値を満たしている状況です。

測定物質は揮発性有機化合物（VOC）や粉じんに含まれる金属（マンガン、ニッケル、クロム）などです。VOC は PM2.5 や光化学オキシダントの原因物質でもあるため、来年度からは VOC の詳細な実態調査も行き、県内の大気環境の保全に役立てていきます。



ハイポリウムエアサンプラーによる大気粉じんの採取

## 職員自己紹介

環境企画部の西村と申します。主に、環境教育の普及啓発と環境行政担当職員向けの研修などを担当しています。環境教室や講師派遣の PR に行くたびにセンターの知名度の低さを痛感し、広報、情報発信に力を入れなければと思っています。また、小学校の環境学習の支援で、子育ても終わり縁遠くなっていた小学生とふれあう機会があり、かわいい子ども達の様子に癒されながら仕事をしています。

最近は、環境教室も研修会もオンライン開催が増えてきました。会場を見渡せば把握できた実験の進み具合も、マイクを通して参加者に確認しながら、という手順になり、これまでとは違った工夫が必要です。研修で隣の席になった人との何気ない会話も難しくなりましたね。コロナの影響はどこまで及ぶのでしょうか。

もうすぐ春、情報棟周りの雪解けとともに多くの方が来館される日を心待ちにしています。



## 編集後記

2月に久しぶりに対面形式での全国規模のシンポジウムが予定されていましたが、オンラインに変更になりました。オンラインは、参加しやすい、人数制限がほぼない、というメリットがある反面、意見を交換し合っても人との繋がりが生まれにくい気がします。この職場に異動して新しい分野の仕事を行っています、なかなか人脈が増えていかないですね。

《編集》山形県環境科学研究センター

住所 村山市楯岡笛田三丁目2-1 TEL 0237-52-3124 FAX 0237-52-3135

ホームページ<https://www.pref.yamagata.jp/053001/kensei/shoukai/soshikiannai/kankyoenergy/053001.html>

ツイッター<https://twitter.com/tunakanyamagata>



ホームページ



ツイッター